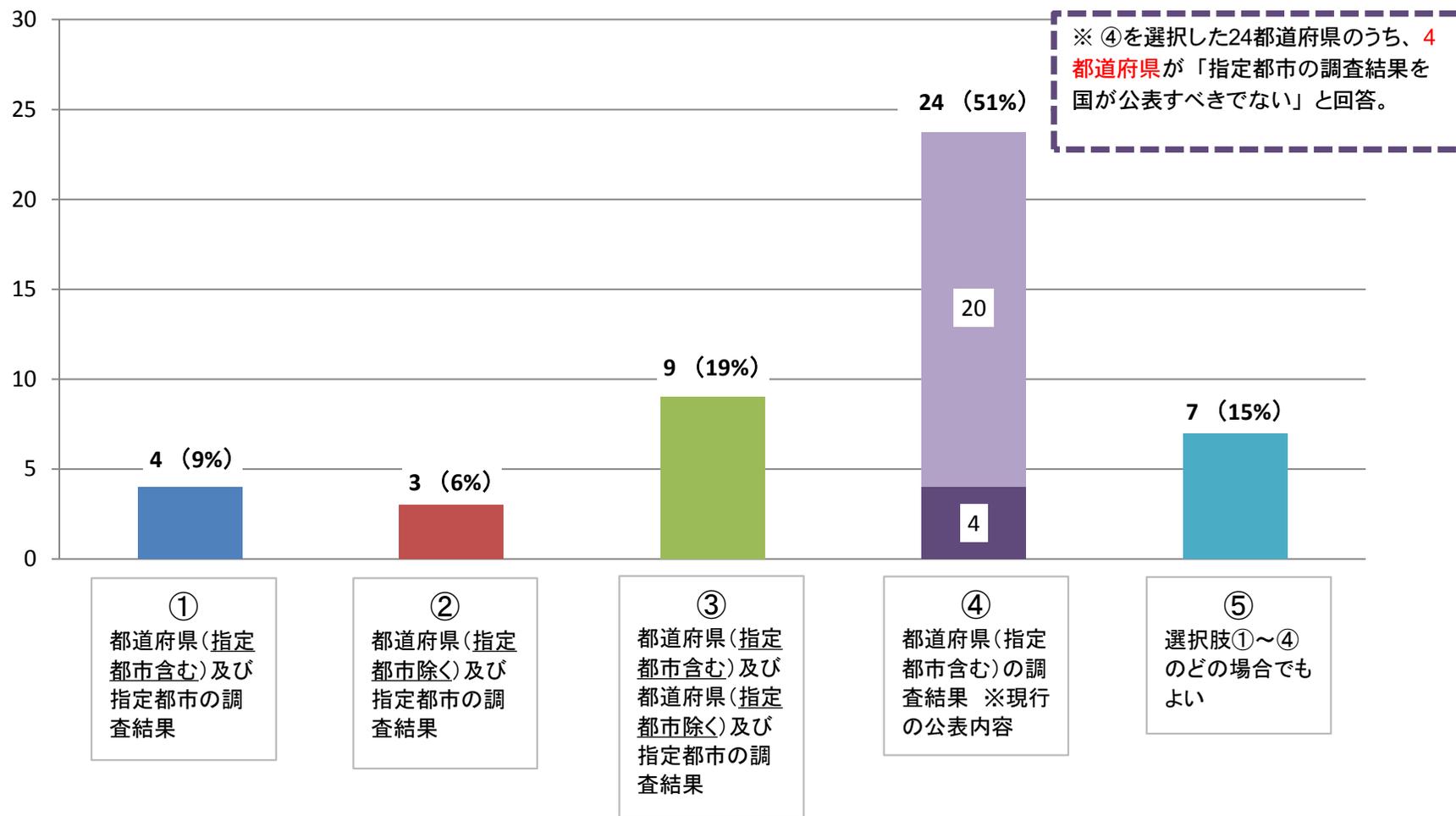


平成29年度以降の全国学力・学習状況調査の結果公表に関する調査 集計結果

【全47都道府県】

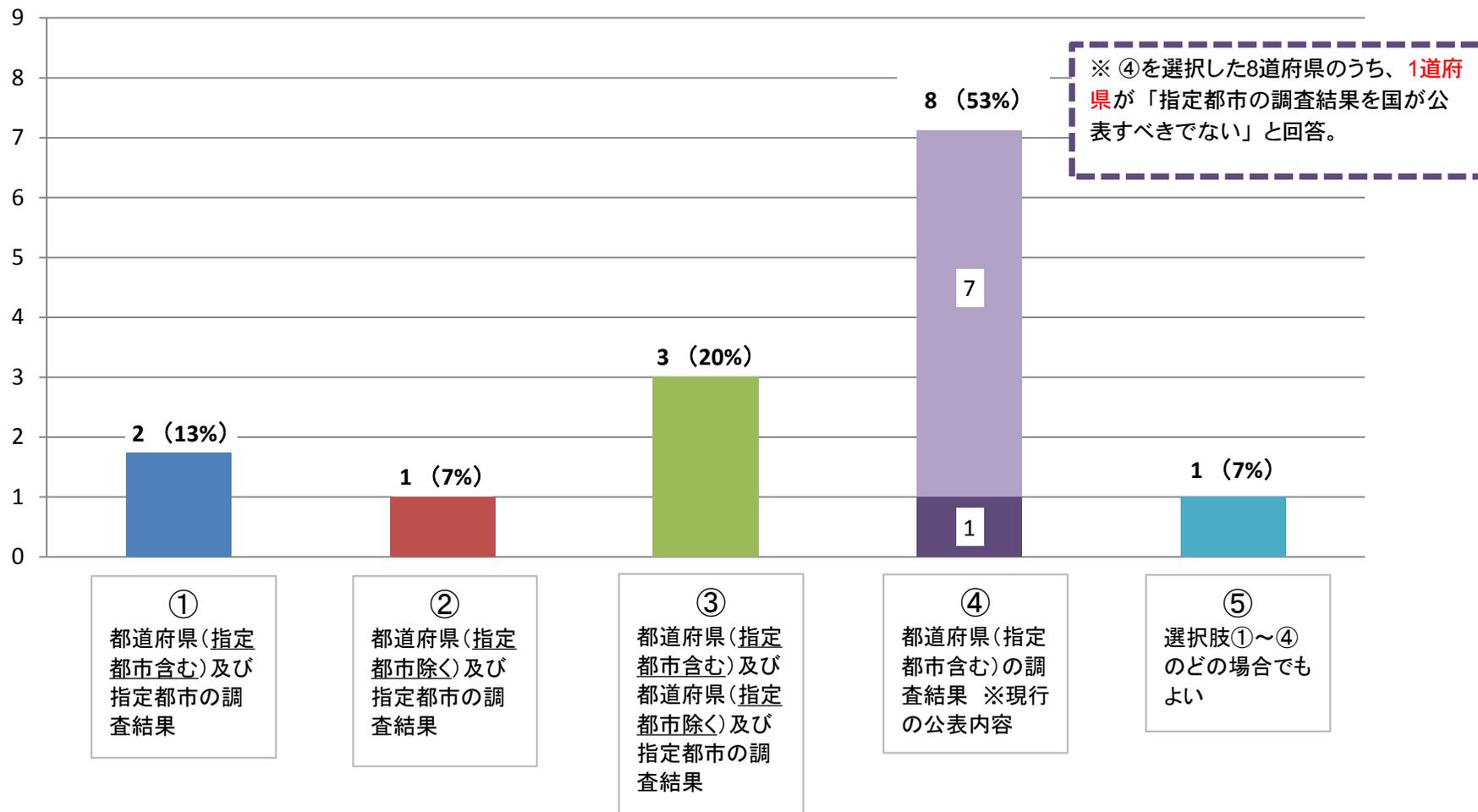
都道府県数



平成29年度以降の全国学力・学習状況調査の結果公表に関する調査 集計結果

【指定都市を有する15道府県】

道府県数



それぞれの選択肢を選んだ理由(抜粋)

都道府県名	選択肢	選択肢を選んだ理由	再回答	再回答を選んだ理由
A都道府県	①	次の2点を踏まえ、①とした。 1 指定都市においては、公立学校教員の給与・定数の事務が移管されることに伴い、都道府県と同等の説明責任が求められるため。 2 本都道府県教育委員会では、指定都市を含む本都道府県のすべての子どもたちの学力を全国以上とすることを目標として、取組を進めているため。		
B都道府県	①	これまで、本都道府県の児童生徒の学力・学習状況について、他の都道府県(指定都市含む)の調査結果との比較を基にして、検証改善を行ってきた。そのため、指定都市を含む都道府県の調査結果が公表される①③④であれば、過去の調査結果との経年比較ができるのでよいが、その中でも、これまで公表されなかった指定都市の結果が分かると、指令都市のよい取組を参考にできるようになることから、①が適当であると考え。		
C都道府県	②	都道府県教育委員会に指導助言等の権限のない指定都市の結果については、従前から、別途公表することが望ましいと考えていた。本都道府県においても、教員採用試験についても、平成29年度以降は、これまでの共同実施から、別実施となることが決まっており、児童生徒の学力等に関する状況や、各学校の取組及び施策の効果を正確に把握・検証し、その後の教育施策等に正しく反映する観点からも、平成29年度以降の完全移管後の結果公表に関しては、上記回答のとおり別々に行っていただきたい。 また、これまで公表されていた指定都市を含む都道府県別結果については、教育施策の改善・充実に生かすという調査目的や、指導権限等が別々であることなどについて、都道府県民に誤解を生じさせかねないため、公表の必要はないと考える。		
D都道府県	②	このような公表の形をとることによって、指定都市が行っている学力向上に対する施策とその成果について、より明確に判断することができるようになるため。 また、これにより、指定都市の施策、指定都市を除く当該都道府県の施策と、本都道府県の施策を比較・分析し、学力向上に向けた新たな施策の構築に役立てたいと考えるため。		
E都道府県	③	権限委譲に伴い、都道府県教育委員会と指定都市教育委員会は、完全に独立して教育行政をつかさどることになる。本調査の目的に明記されているように、児童生徒の学力等の状況をより的確に検証し、それぞれが設定した教育施策の改善・充実にいかすためには、都道府県教育委員会と指定都市教育委員会の結果を分けて公表した方がよい。ただし、これまで本都道府県として指定都市を含む調査結果を公表してきており、過去の分析結果等を踏まえながら、引き続き、本都道府県全体の学力実態を把握したり、調査結果を経年で比較したりすることで、本都道府県独自の検証・改善に適すると判断したため、③を選択した。		
F都道府県	③	都道府県と指定都市とは、教育行政のシステムが異なるため、一概にデータを比較することが妥当であるとは言えない。そのため、これまでのデータとの経年比較を分析することができ、さらに指定都市を除く都道府県の結果も得られる③とした。		
G都道府県	③	「都道府県(指定都市含む)の調査結果」については、これまでの経年変化を見る上で必要な情報であると考えます。また、「都道府県(指定都市除く)の調査結果及び指定都市の調査結果」については、これからの指定都市への事務の移管をふまえると、これらの情報も今後、必要になると考えられます。以上のことから「都道府県(指定都市含む)及び都道府県(指定都市除く)及び指定都市の調査結果」を国が公表することが適当と考えます。		

それぞれの選択肢を選んだ理由(抜粋)

都道府県名	選択肢	選択肢を選んだ理由	再回答	再回答を選んだ理由
H都道府県	④	現行の結果提供の方法でも、各指定都市は当該市の結果を把握することができ、教育施策の改善・充実に生かすことが十分可能であると思われる。現行と異なる行政区分の調査結果を公表することにより、その中における序列化や過度の競争を招くことにつながりかねないため。	A	現行の結果提供の方法でも、各指定都市は当該市の結果を把握することができ、教育施策の改善・充実に生かすことが十分可能であると思われる。現行と異なる行政区分の調査結果を公表することにより、その中における序列化や過度の競争を招くことにつながりかねないため。
I都道府県	④	平成29年度以降においても、これまで通りの調査結果からの分析で、児童生徒の学力等に関する全国的な状況をより的確に検証し、教育施策の改善・充実にいかしていくことが十分可能であると判断したため。	A	公表するにあたっては、学校の序列化につながらないよう、また、過度に競争心をあおらないように留意して頂きたい。
J都道府県	④	これまで、学力向上については指定都市を含む本都道府県公立学校全体として取り組んでおり、分析結果や分析ツールを指定都市に提供するなど、教職員の研修も共同で実施してきた。移管後も、指定都市からは教職員に対する研修事業の一部を共同で実施したいとの希望が出ており、今後も様々な場面で教職員の交流が見込まれている。そこで、本都道府県全体の児童生徒の学力・学習状況を把握することは、教育施策の立案や研修内容の改善を図るために必要なことと考える。 また、指定都市の結果を公表するにあたっては、指定都市の意向によるものであり、本都道府県としては判断はできない。これにより、現行の公表内容での公表を希望するものである。	B	
K都道府県	④	平成19年度に全国学力・学習状況調査が実施されて以来、都道府県ごとの調査結果が公表されている。本都道府県では、他都道府県の調査結果や施策等を参考にしながら、分析し、学力向上に向けた取組や市町村への支援を行ってきた。これまでの支援等を評価し改善していくためにも、平成29年度以降も同様な方法を継続したいと考える。	B	
L都道府県	④	分析及び課題改善を行うにあたり、従来通りの公表(選択肢④)内容は必要である。	C	AとBの両方。Aについては、指定都市の調査結果を公表すると、今以上に序列化や過度な競争が生じるおそれがあるから。
M都道府県	④	都道府県(指定都市を含む)調査結果は、平成19年度からの経年比較分析を行うために必要であるため。指定都市の調査結果を公表することで、過度な競争が生じる懸念があるため。 指定都市の調査結果を公表すれば、都市部と郡部の結果の差であるとの不正確な理解が流布することが容易に想定され、その結果、都市部への人口流入圧力が強まり、国と地方で進めている地方創生の政策に逆行することとなるため。	C	AとBの両方。 都道府県(指定都市を含む)調査結果は、平成19年度からの経年比較分析を行うために必要であるため。 指定都市の調査結果を公表することで、過度な競争が生じる懸念があるため。 指定都市の調査結果を公表すれば、都市部と郡部の結果の差であるとの不正確な理解が流布することが容易に想定され、その結果、都市部への人口流入圧力が強まり、国と地方で進めている地方創生の政策に逆行することとなるため。
N都道府県	④	現状においても、各政令市は、公表を行っており、政令市それぞれの実態に合わせて、それぞれのタイミングで正答率とともに分析内容や改善策を示すことが教育的効果につながると考える。そのため現行のままでよい。	C	現状においても、各政令市は、公表を行っており、政令市それぞれの実態に合わせて、それぞれのタイミングで正答率とともに分析内容や改善策を示すことが教育的効果につながると考える。そのため現行のままでよい。
O都道府県	④	現状通りの結果公表でよいと考えるが、当該指定都市並びに指定都市を含む都道府県の意向に沿う公表でよいと考える。	C	当該指定都市並びに指定都市を含む都道府県の意向に沿う公表でよいと考える。
P都道府県	⑤	全国学力・学習状況調査の結果については、都道府県・市町村・学校に対して詳細なデータが提供されており、すでに検証や教育施策の改善・充実にいかされている。 また、市町村・学校等の結果の公表については、それぞれの判断等に基づき可能とされているところ。 今回、新たな公表の在り方を検討されるのであれば、その必要性を明確にした上で、実施主体である文部科学省が判断すべきものとする。		

それぞれの選択肢を選んだ理由(抜粋)

都道府県名	選択肢	選択肢を選んだ理由	再回答	再回答を選んだ理由
Q都道府県	⑤	全国平均と当県の平均正答率を比較することで分析を進めていることから、指定都市を有しない本都道府県では、①～④のどの公表内容になっても全国平均は提供されるため、問題はないものとする。		

域内に指定都市を含む都道府県については、下線を付している。

選択肢 ①都道府県(指定都市含む)及び指定都市の調査結果

②都道府県(指定都市除く)及び指定都市の調査結果

③都道府県(指定都市含む)及び都道府県(指定都市除く)及び指定都市の調査結果

④都道府県(指定都市含む)の調査結果 ※現行の公表内容

⑤選択肢①～④のどの場合でもよい

再回答 選択肢④を選んだ理由

A国が指定都市の調査結果を公表することは適当ではないため

B調査結果の経年の変化を分析する等のために、「都道府県(指定都市含む)」の結果が必要であるから

Cその他